

## News Paper

2006.10.5

Sanyou News paper

真右二をはじめ、正三角形のパツトを組み合わせたばかりの壁面作品かと思ひや。山吹色かと見れば紅色が広がり、光の点に分解したかと思えば色の距離によって翻弄されるのが樂しい。

（西日本新聞）

田市、日本福祉大助教授が「見る人の網膜にアクセスしたい」と刺激的な表現を開発する。



△池田晶一展 岡山市表町、ガレリア・ブントゼロ（086-224-10376）15日まで（9、10日休廊）。二年ぶりの岡山個展になったセラミック造形作家池田晶一（西）は愛知県半田市、日本福祉大助教授が「見る人の網膜にアクセスしたい」と刺激的な表現を開発する。

ギャラリー

2008.07

Hokkoku News paper

新作の陶壁作品と池田さん=金沢市広坂1のギャラリー桜井で

秋から母校の金沢美術工芸大学院に内地留学中の陶芸家、池田晶一さん（四二）の個展が、金沢市広坂一のギャラリー桜井で二十日まで開かれている。

「空間に溢れる光と影を見る陶造形（Wave Series）」と題して、新作を発表した。白磁タイルを並べた横四帖ほどの

陶壁作品は、凹凸のある波状の表面が微妙な陰影をつくりつきめく水面をのぞくよう。作品をパソコンに取り込み、さまざまな形でシミュレーションした映像も流れている。

池田さんは京都市生

まれ。一九九一年に第二回陶芸ビエンナーレ（本社など主催）でグランプリを受賞した。問い合わせはギャラリー桜井＝電話076（262）0628号へ。  
（鈴木弘）

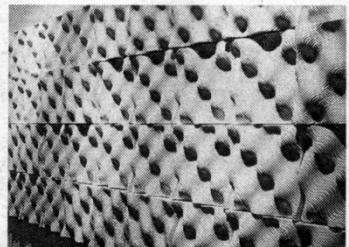
2008.06.22

Sanyou News paper

▽池田晶一展 岡山市表町、ガレリア・プリントZero（086-224-0376）29日まで（23、24日休廊）。

人の視覚、意識を揺さぶる陶造形を開するセラミック造形作家池田晶一（四〇）＝愛知県半田市、日本福祉大准教授の二年ぶりの岡山個展。前回のめぐるめく色彩表現から一転、陰影表現へと歩を進めている。

ギャラリー



白磁のパーツを波打たせ、その表面にも細かな波文を広げた「WAVEシリーズ」の大作＝写真、部分＝は、光の加減で実に複雑で繊細な陰影を宿す。単純な白一黒でなく、光の中にも陰、陰の中にも光といった表現だ。

細密さとスケール感が融合した世界だけに「建築などの空間表現へと広げたい」という意欲も当然だろう。元岡山県立大助手。（岩崎充宏）

2017.05.24

Hokkoku News paper

陶磁の技術生かし  
インテリア風壁面  
金沢で池田さん個展

金沢美大の池田晶一教授の個展「陶磁による波と陰影」（北國新聞社後援）＝写真＝は20日、金澤市入江2丁目のギャラリー点で始まり、陶磁器作りの技術を生かしたインテリア風の壁面作品20点が並んだ。

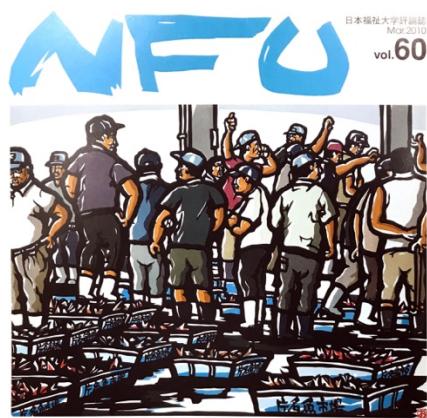
光の当たり方によつて模様が変化して見える縦横1・5㍍の陶磁作品などが、来場者の関心を引いた。ギタリストの北峯千裕さん（大分県杵築市）による演奏会も開かれ、「リュートのための6つの小品」などを披露した。28日まで。



## Magazine

Mar.2010 Nihon Fukushi University Critique vol.60

Gravure page



### ■ 医療・健康はいま

- 審査 民主党政権の医療政策と財源選択 二木 亮
- てい説 医学の発展と医療の変化がもたらしたもの 松井宣夫／千田勝二／浅井友詞
- 審査 21世紀と健康～自立社会参加の観点から～ 岡川 焕
- 講演 今日の科学の到達点とそれの学習 益川敏英

表情豊かな  
セラミックの  
光と陰影

池田晶一の世界

池田晶一 Ikeda Shioichi

日本福祉大学健康科学部福祉工学科准教授  
1966年奈良県生まれ。金沢美術工芸大学美術工芸学部  
卒業(1990)、金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究  
科(修士課程)修了(1993)。株式会社創藝堂(株)井岡  
昇(1993～1999)、日本福祉大学在籍(1999～2000)、金沢  
美術工芸大学大学院美術工芸研究科(修士後期課程)  
修了(2000)。学位 博士(芸術)取得(2005)。

グラビア ©池田晶一の世界 表情豊かなセラミックの光と陰影



portrait

